

# 第11期(2016年3月期)決算説明会

2016年6月2日



アジアパイルホールディングス株式会社

**当社グループのジャパンパイル株式会社による施工報告書のデータ流用問題につきまして、皆様に多大なご心配とご迷惑をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。**

**当社グループは、今後かかる事態を引き起こさぬよう、施工体制に万全を期し、再発防止に取り組んでまいります。**

I. 決算のポイント、主なトピックス	4 ~ 5
II. マーケットの動向	7 ~ 10
III. 第11期(2016年3月期)決算概要(連結)	12 ~ 15
IV. 経営概況	17 ~ 21

## I .決算のポイント、主なトピックス

# 1. 決算のポイント

---

(1) 2016年3月期売上高は、国内コンクリートパイル業界全体の需要が減少する中で大型物件が堅調であったこと、ベトナムのPV社の業績が好調に推移したことにより増収。

連結売上高は721億円で前期対比7.3%の増収。

国内売上高は624億円で前期対比1.3%の増収。

PV社の売上高は97億円で前期対比74.5%の増収。

(2) 2016年3月期国内コンクリートパイルは、業界全体で出荷量が前期対比3.4%減少。当社グループのシェアは出荷量で0.3ポイント減少するも、完工量で0.6ポイントアップした。

鋼管は、土木物件の受注増により、前期対比20.8%の増収。

場所打ちは、新工法の浸透等により、前期対比6.9%の増収。

(3) 利益は、研究開発費等先行投資関連の費用が増加したこと、大型工事の利益率が低下したことから、営業利益で前期対比34.9%の減益、経常利益は同39.0%の減益となった。

## 2. 主なトピックス

---

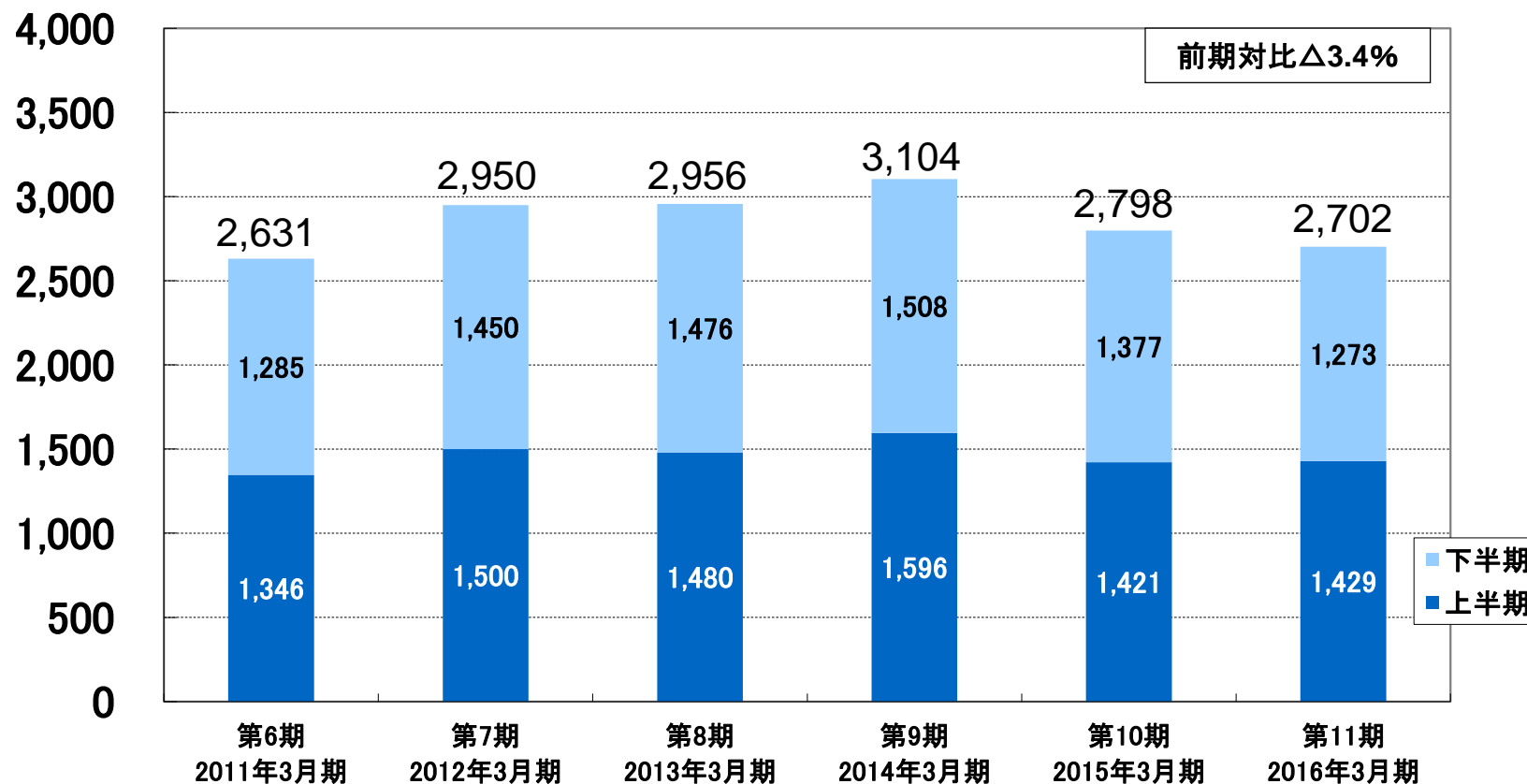
- 2015年4月 ER Pile II 工法(場所打ち鋼管コンクリート杭工法)の一般評定を取得。
- 2015年6月 ミャンマーにて合併会社VJP Co., Ltd.の設立、ティラワ工業団地内にて新工場建設申請手続きに着手。同年9月資本金払込み完了。
- 2015年7月 福岡新工場の竣工(生産能力10万トン)。同年11月に出荷開始。
- 2015年10月 会社名を「ジャパンパイル株式会社」から「アジアパイルホールディングス株式会社」に変更し、各国に事業会社を配置した持株会社体制へ移行。
- 2015年11月 JSHR工法(リバーズ工法を利用した場所打ち拡底杭工法)の一般評定を取得。大型工事の施工品質確保とコストダウンに強み。
- 2016年3月 滋賀、山梨、茨城の各工場の生産設備増強完了。前年度からの設備増強にて、3工場合計で生産能力7万トンのアップ。

## Ⅱ.マーケットの動向

### 3. 全国コンクリートパイロ出荷量

コンクリートポール・パイロ協会資料

(単位:千トン)

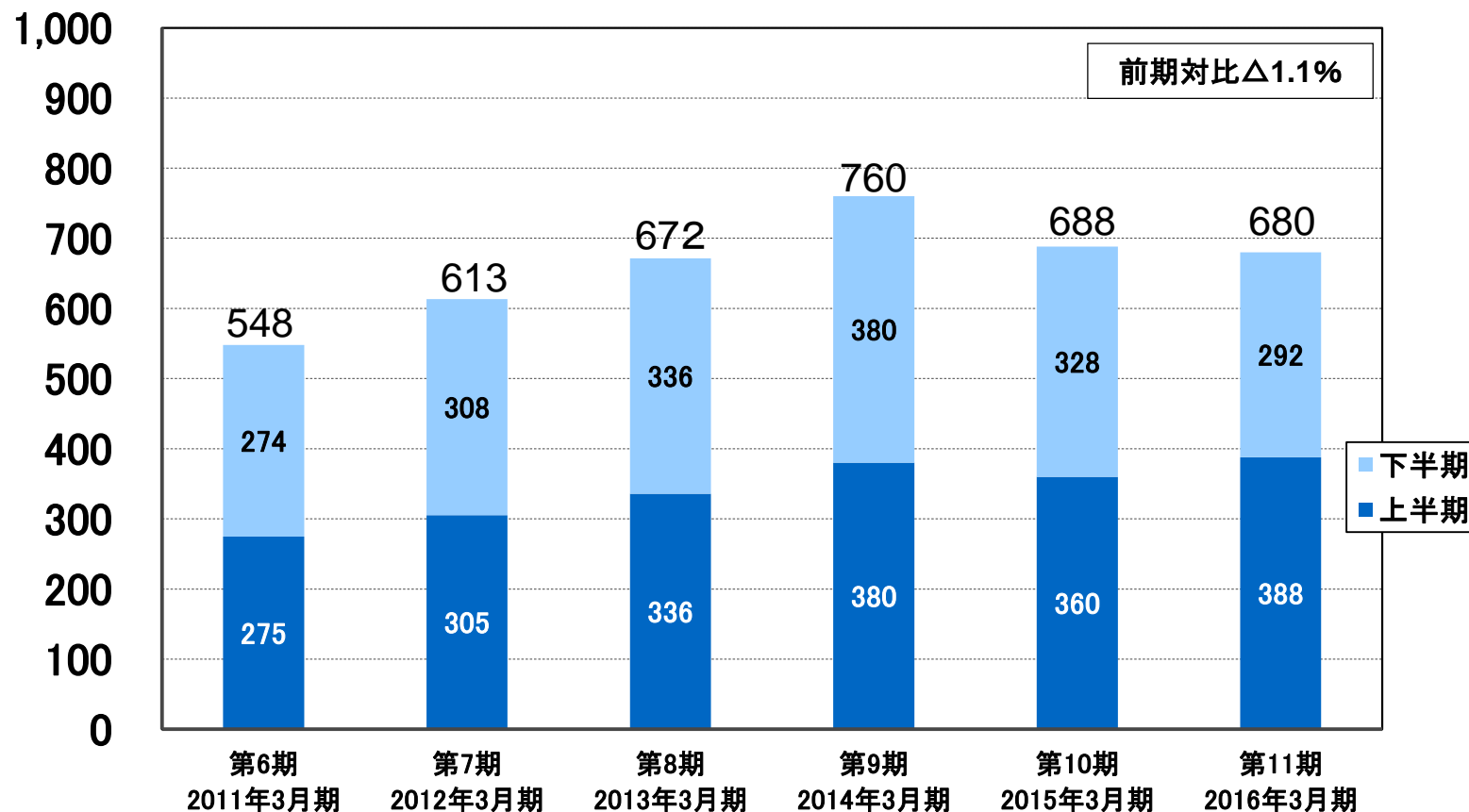


全国のコンクリートパイロの出荷量は、3.4%の減少となった。



## 4. 当社グループのコンクリートパイプ完工量(国内)

(単位:千トン)



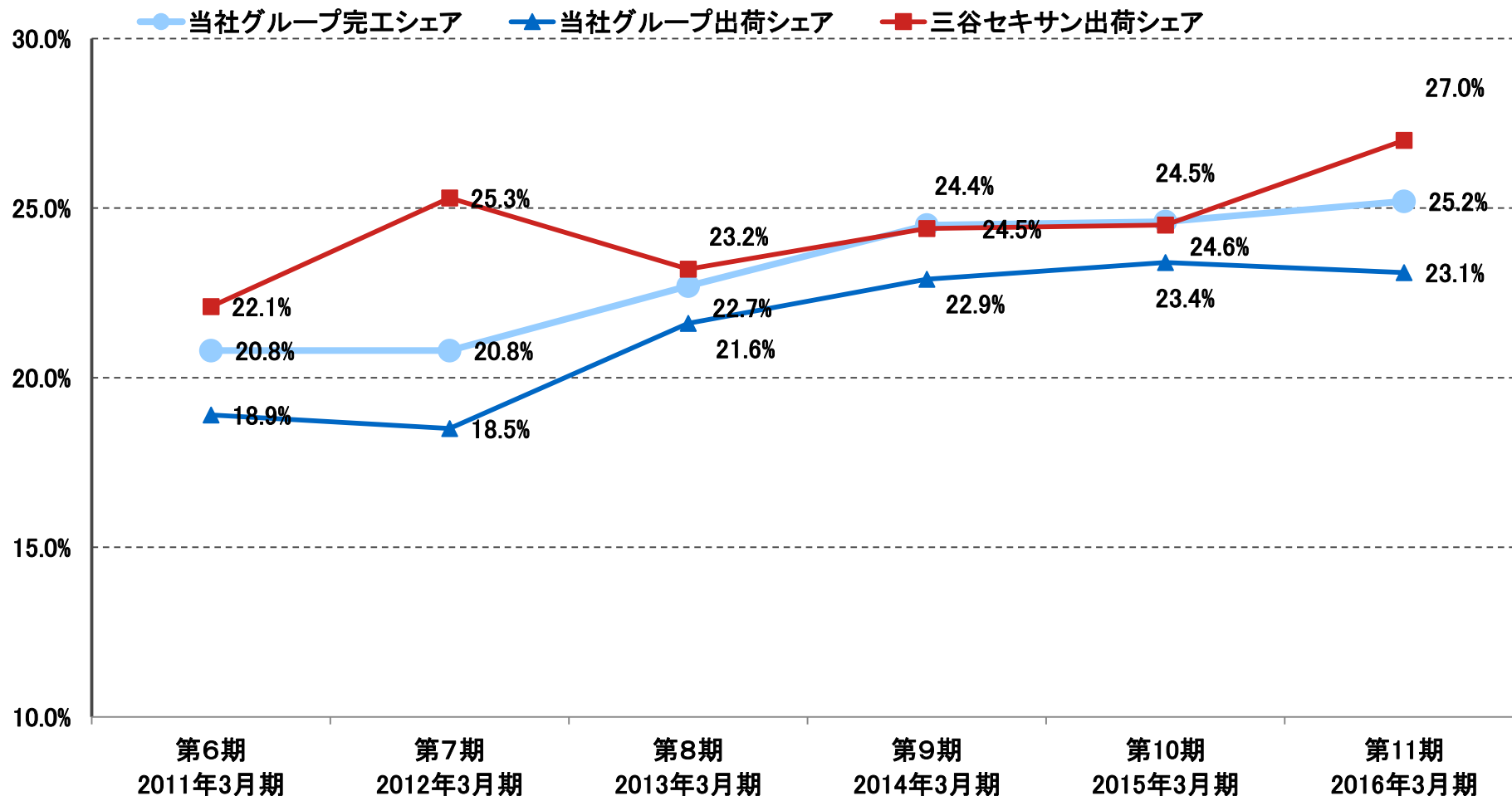
当社グループの国内コンクリートパイプの完工量は、1.1%の減少となった。

## 5. コンクリートパイルのシェア

コンクリートポール・パイル協会資料

		第6期 2011年3月期	第7期 2012年3月期	第8期 2013年3月期	第9期 2014年3月期	第10期 2015年3月期	第11期 2016年3月期
当社グループ	出荷量(t)	498,000	546,784	639,806	710,708	655,059	624,806
	シェア	18.9%	18.5%	21.6%	22.9%	23.4%	23.1%
	完工量(t)	548,030	613,124	671,474	760,254	687,510	679,778
	シェア	20.8%	20.8%	22.7%	24.5%	24.6%	25.2%
三谷セキサン	出荷量(t)	582,583	747,655	686,894	757,701	684,755	729,702
	シェア	22.1%	25.3%	23.2%	24.4%	24.5%	27.0%
日本コンクリート 工業	出荷量(t)	231,029	276,141	270,303	241,770	240,390	216,550
	シェア	8.8%	9.4%	9.1%	7.8%	8.6%	8.0%
日本ヒューム	出荷量(t)	211,968	250,656	222,848	269,879	251,255	250,863
	シェア	8.1%	8.5%	7.7%	8.7%	9.0%	9.3%
トーヨーアサノ	出荷量(t)	166,534	200,575	175,784	195,838	197,389	158,728
	シェア	6.3%	6.8%	5.9%	6.3%	7.1%	5.9%
上位5社計	出荷量(t)	1,690,114	2,021,811	1,995,635	2,175,896	2,028,848	1,980,649
	シェア	64.2%	68.5%	67.5%	70.1%	72.5%	73.3%
総出荷量	出荷量(t)	2,631,261	2,950,442	2,956,302	3,104,308	2,798,246	2,701,775

## 6. コンクリートパイプシェアの推移(国内)



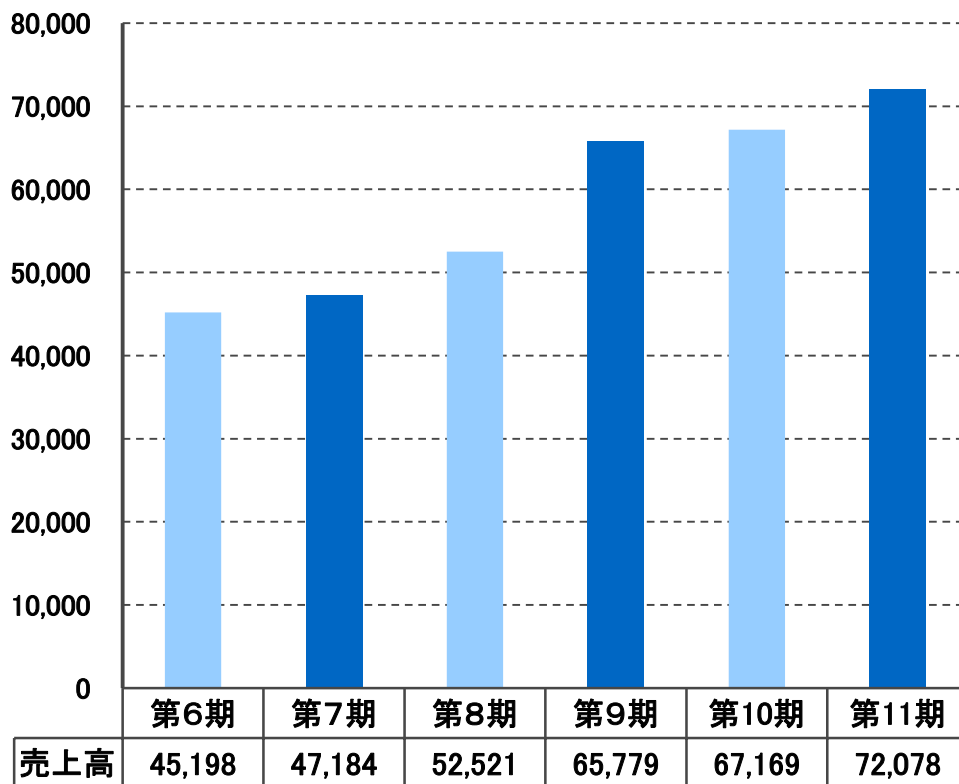
**完工シェアは、0.6ポイント上昇した。**

### **Ⅲ.第11期(2016年3月期) 決算概要(連結)**

## 7. 連結売上高・営業利益の推移

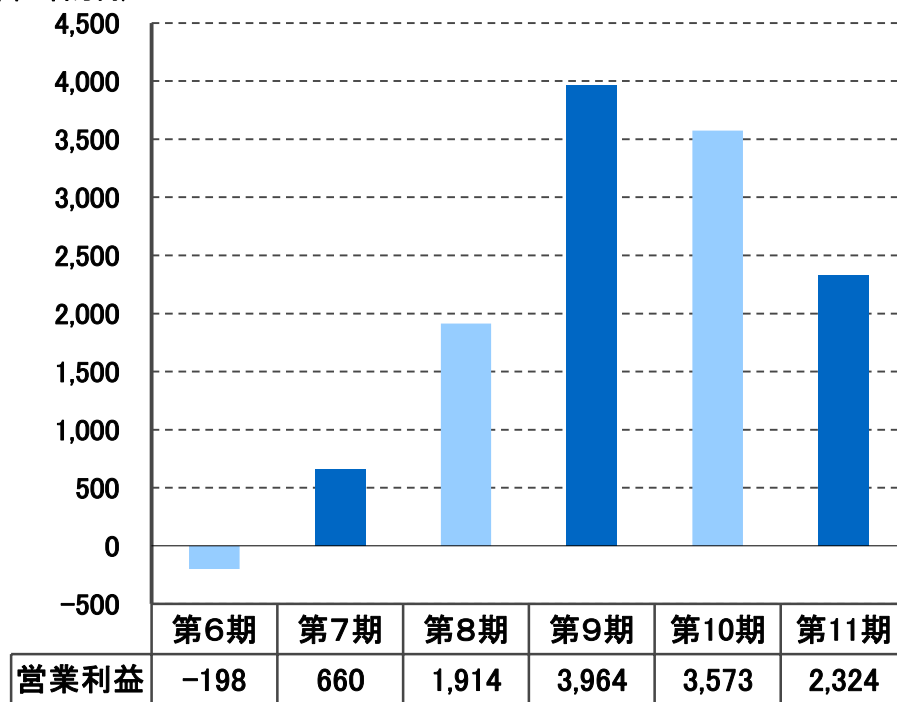
### 売上高

(単位:百万円)



### 営業利益

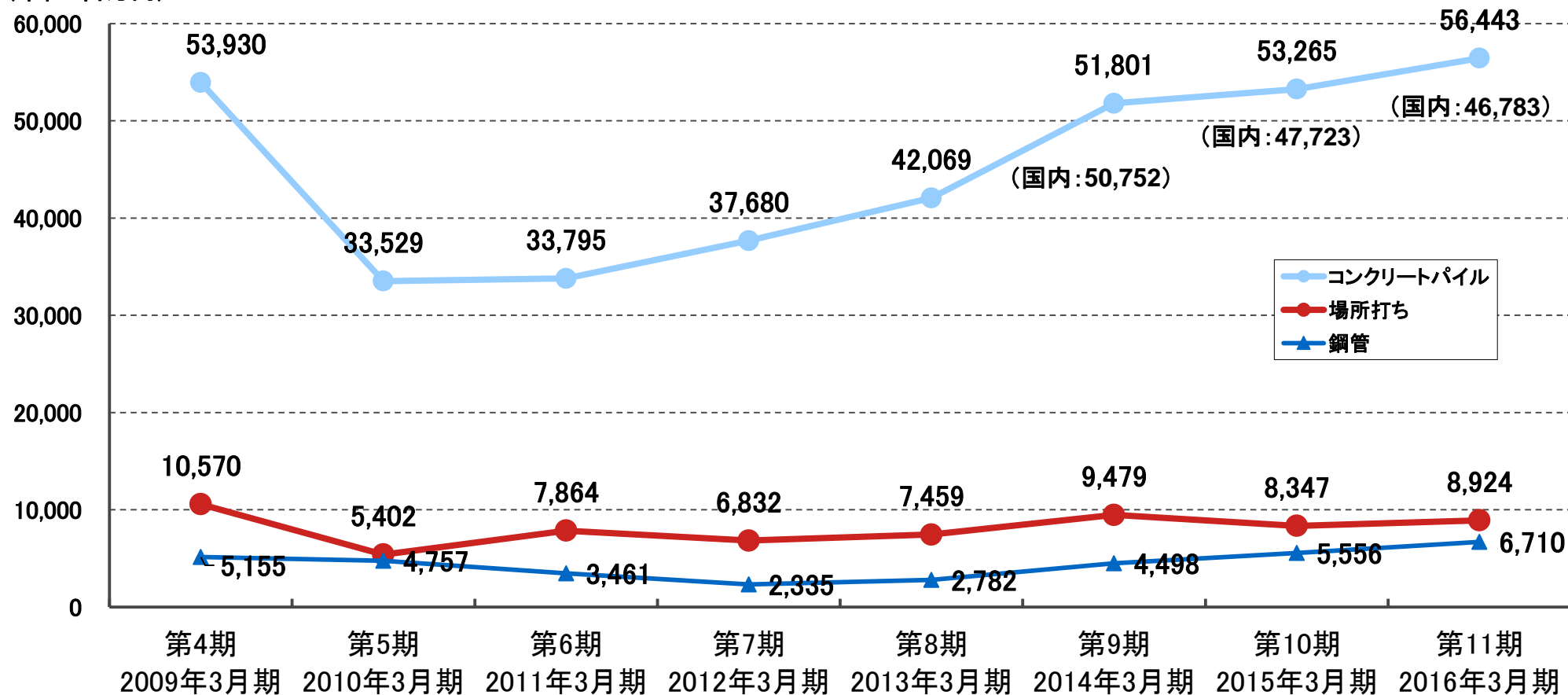
(単位:百万円)



売上高は前期対比7.3%増収、営業利益は34.9%の減益となった。

## 8. 連結部門別 売上高の推移

(単位:百万円)



**コンクリートパイルは6.0%、鋼管は20.8%、場所打ちは6.9%の増収。**

## 9. 比較連結損益計算書

(単位:百万円)	第6期 2011年3月期	第7期 2012年3月期	第8期 2013年3月期	第9期 2014年3月期	第10期 2015年3月期	第11期 2016年3月期	第12期 2017年3月期 【予想】
売上高	45,198	47,184	52,521	65,779	67,169	72,078	74,000
売上総利益	5,599	6,914	8,099	10,768	10,613	10,097	10,284
(売上総利益率)	(12.4%)	(14.7%)	(15.4%)	(16.4%)	(15.8%)	(14.0%)	(13.9%)
販売費及び一般管理費	5,798	6,253	6,185	6,803	7,040	7,772	7,784
営業利益	△ 198	660	1,914	3,964	3,573	2,324	2,500
経常利益	45	963	2,167	4,239	3,666	2,235	2,300
税金等調整前当期純利益	△ 2,238	806	2,198	4,213	3,415	2,286	—
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 2,201	1,309	2,011	2,661	2,396	1,432	1,450
ROE	△18.6%	11.8%	15.1%	14.3%	10.2%	5.8%	5.7%

# 10. 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	第6期 2011年3月期	第7期 2012年3月期	第8期 2013年3月期	第9期 2014年3月期	第10期 2015年3月期	第11期 2016年3月期
税金等調整前当期純利益	△ 2,238	806	2,198	4,213	3,415	2,286
減価償却費	1,334	947	897	1,068	1,514	1,861
売上債権の増減 (△は増加額)	△ 2,190	△ 1,014	△ 2,106	△ 2,276	291	953
たな卸資産の増減 (△は増加額)	△ 822	290	△ 1,471	548	△ 834	△ 571
仕入債務等の増減 (△は減少額)	3,097	103	3,533	1,317	832	△ 2,024
その他	1,378	486	△ 89	△ 359	△ 969	△ 1,635
<b>I. 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>558</b>	<b>1,618</b>	<b>2,963</b>	<b>4,511</b>	<b>4,249</b>	<b>870</b>
有形固定資産の増減	△ 246	△ 67	△ 131	△ 1,214	△ 3,080	△ 3,529
投資有価証券の取得	△ 150	△ 480	△ 625	△ 135	△ 2	△ 33
その他	△ 169	△ 32	44	△ 95	△ 57	△ 339
<b>II. 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 565</b>	<b>△ 579</b>	<b>△ 712</b>	<b>△ 1,445</b>	<b>△ 3,140</b>	<b>△ 3,902</b>
借入金・社債の増減	△ 315	△ 120	△ 2,280	△ 1,995	△ 988	3,289
配当金の支払	△ 208	△ 127	△ 203	△ 435	△ 456	△ 502
株式発行による収入	—	—	1,096	4,184	—	—
その他	△ 397	△ 355	△ 467	271	△ 572	△ 116
<b>III. 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 921</b>	<b>△ 602</b>	<b>△ 1,854</b>	<b>2,025</b>	<b>△ 2,016</b>	<b>2,670</b>
<b>IV. 現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>5,630</b>	<b>6,067</b>	<b>6,463</b>	<b>11,564</b>	<b>10,741</b>	<b>10,301</b>



## IV. 經營概況

# 11. 経営概況

---

## 1. はじめに

## 2. 昨年度の特徴

(1) 大型工事の増加

(2) 下期に失速した中小型工事

(3) 海外子会社の業績の急伸

# 11. 経営概況

---

## 3. 当社の経営方針

### (1) 当社の強みと弱み

#### ①強み

基礎設計力

工事管理能力

基礎技術研究開発力

海外事業

#### ②弱み

顧客基盤・・・大手ゼネコンとの関係

# 11. 経営概況

---

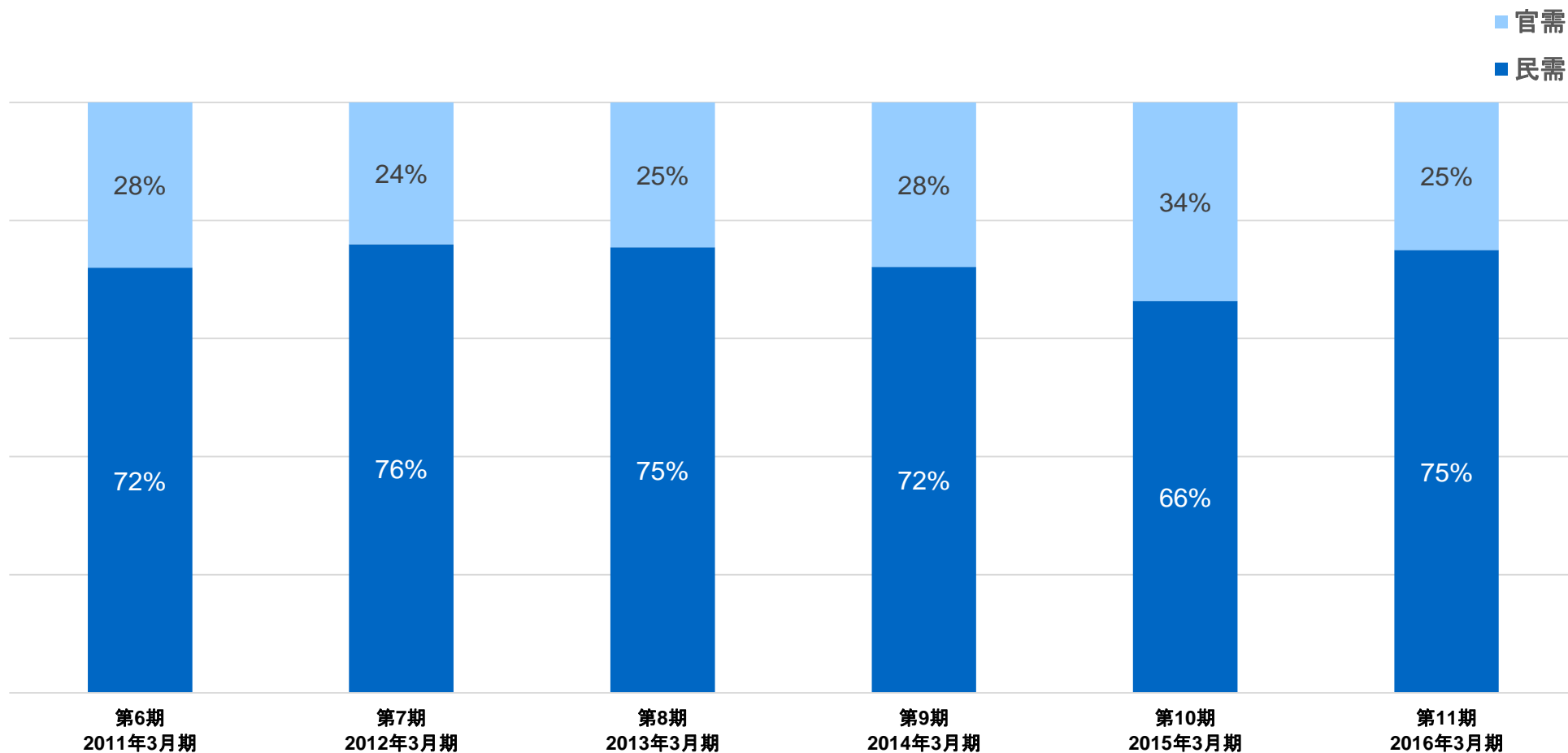
## (2) 5カ年計画(平成26年度～30年度)の狙い

①準備期間を設ける …… 強みの発揮と弱点の克服

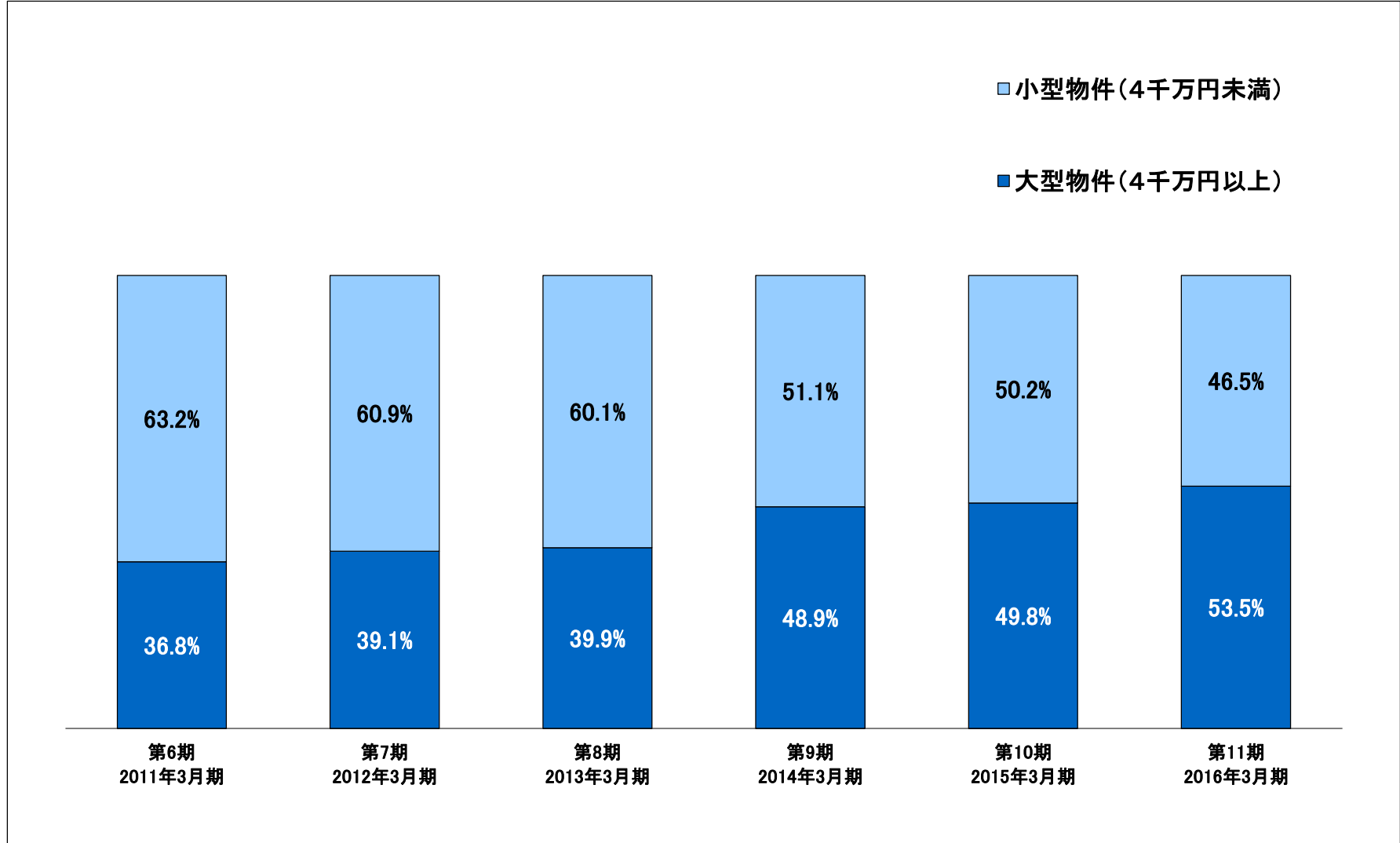
②積極的な事業展開 …… 準備期間後に展開

## 4. 当社経営方針と業績

## 12. 全国のコンクリートパイプ出荷率(官需・民需別)



# 13. 売上高別比率（国内）



大型物件の比率が増加。